

創傷洗浄方法の選択肢とプロントザンの使用経験について

難治性創傷の治癒を目指す場合、原疾患の治療を行い、創傷の原因や治癒の妨げになる要因を解消していきます。同時に、創傷ケアでは、創傷の衛生状態を整えるケアを実践します。本資料では、創傷の衛生状態を整えるための基本手順として知られる創傷衛生/ウインド・ハイジーン4STEPのSTEP1:洗浄の方法に焦点をあてながら、抗菌性創傷被覆・保護材プロントザンを使用した経験を紹介します。



寺部雄太 先生
春日部中央総合病院
下肢救済センター

創傷衛生／ウインド・ハイジーン

治癒が遅延している創傷では、創面に細菌が定着しさらに臨界的定着となり、多量の滲出液やヌメリを生じているなど、創傷の衛生状態が悪化しているケースが多くなります。特に、難治性創傷の治療を開始する段階では、徹底した創傷衛生／ウインド・ハイジーンの実施が必要になるため、患者さんにとっても、医療従事者にとっても、処置の負担が大きくなる場合があります。

難治性創傷の治療期間は、数か月から数年に及ぶこともあり、日々繰り返す創傷ケアの内容は、患者さんやケアを提供する側にとって少しでも安楽で、負担の少ない方法を選択していくことも、大切な治療戦略になります。

創傷ケアの課題 疼痛・苦痛・労力

皆さんは、創傷を洗浄する方法を何種類使い分けていますか。創傷処置に疼痛を伴う場合は、洗浄が十分に行えないことも考えられます。また、患者さんの病状や創傷の部位によっては、処置に伴う苦痛が大きな課題となる場合があります。処置に伴う疼痛や苦痛は、創傷衛生／ウインド・ハイジーンの実践を著しく困難にする課題になります。

創傷の洗浄を安楽にしながら、創面に付着した細菌や不活性組織を除去する方法として、プロントザンソリューションをガーゼに浸漬し、15分間創部をパックする方法があります。プロントザンは、両性界面活性剤ペタインと抗菌成分 PHMB を含み、少ない力で創部から細菌や不活性組織を除去するため

に役立ちます。従来の石鹸の泡や流水を使用する洗浄に比べ、創部をこすることや、多量の流水で創部を洗い流す必要がないことから、洗浄に伴う疼痛や苦痛を軽減する方法といえます。

また、患者さんやスタッフでも、出血や疼痛の心配がなく安全に繰り返し実施できることで、細菌の臨界的定着や感染の予防にも役立つ洗浄方法になります。

●お知らせ

創傷衛生／ウインド・ハイジーンのSTEP1洗浄を特集しているこちらの動画もぜひご覧下さい。



前編



後編

Case Study

50歳代／男性／カルシフィラキシス

併発疾患:慢性腎臓病(G5d)、冠動脈疾患、脳梗塞(左不全片麻痺)
既往歴:左尖足でアキレス腱延長術(10年前)
本疾患の治療を数年間で3回程度施行。

半年前に同様の症状で入院歴がありますが、その際は、疼痛コントロールおよび吸着療法で改善していました。今回は透析クリニックで2ヶ月弱治療を継続および前回は踏襲した疼痛コントロールをするも、処置時および安静時の疼痛が強く、透析困難となり当院入院加療となっています。創面には、洗浄不足と思われるヌメリがあり、臨界定着が疑われる状態でした。また、多量の滲出液を伴っていました(写真①)。



疼痛は創傷ケアの実践を困難にする要因になる可能性があります。

①

治療介入時の創傷の状態。創面には、洗浄不足と思われるヌメリがあり、多量の滲出液を伴っている。



プロントザンソリューションガーゼを用いた
洗浄とプロントザンゲルを塗布する治療を 4
週間継続しました（写真②）。

期間中は、連日の処置を行っています。
最終的に上皮化し、治癒に至りました。

プロントザン治療で、患者さんは新たな処
置方法を実践することになりました。ことさ
ら、その処置方法による疼痛が軽減すること
が受け入れやすさにつながりました。医療従
事者も、疼痛コントロールができた創傷の処

置は、安楽に行えることで施行しやすく、受
け入れは良好でした。さらに、洗浄や創処
置が日々継続されると、比較的短期間に創
傷のアウトカムも良化する印象があります。
その結果、患者さんとケアに関わるスタッ
フがともに創傷の改善を喜ぶことができま
した。

まとめ

プロントザンによる治療は、患者さんに治
療を継続してもらうためのいくつか重要なメ
リットがあると考えています。治療経過が長
期化している難治性創傷を治療する場合に、
創面を十分に清浄化するケアが特に重要に
なります。しかし、長い間、創傷の清浄化
処置が十分に行えなかった背景がある患者さ
んが多いことも自明です。そこで、近年盛
んに耳にするようになった創傷衛生／ wound
・ハイジーン 4STEP の実践が特に重要といえ
るのですが、そのポイントは、ケアを行う人
が継続できる方法を選択するということに尽
きると思います。

プロントザン治療のメリット

- 1. 安楽に洗浄を行えること
- 2. 疼痛が少ないこと
- 3. 失敗が少ないこと
- 4. 創傷の改善が実感できること



② 処置時の様子。プロントザンソリューションガーゼでバックしている様子。

TIPS2
処置の間は、疼痛のレベルを確認しながら行いましょう。



③ プロントザン治療を4週間継続した後の様子。

レセプトの記載要領

記載例 創傷処置（100cm未満）52点3回の場合

40処置	処置52×3回……156	40	・創傷処置 52×3 ・被覆材皮下組織用（異形） ・プロントザンゲル（30g） ・50cm 20g×35円/g =70 70×3
------	--------------	----	--

プロントザン（創傷被覆材）が使用される診療報酬区分の例

区分番号	名称	備考
J000	創傷処置	
J000-2	下肢創傷処置	主治医が皮下組織に至ると判断した創傷に
J001-4	重度褥瘡処置	使用した場合に限る
K000	創傷処理	
K000-2	小児創傷処理	

抗菌性創傷被覆・保護材 高度管理医療機器

創傷衛生／wound・ハイジーンの実践 プロントザン

プロントザン 創傷用ゲル（容量30g）保険適用 ●入数/箱：20 ●製品番号：400599
機 能 区 分：在宅処置用 008 皮膚欠損用創傷被覆材(2)皮下組織に至る創傷用 ②異形型
病院処置用 101 皮膚欠損用創傷被覆材(2)皮下組織に至る創傷用 ②異形型
処 方 用 012 皮膚欠損用創傷被覆材(2)皮下組織に至る創傷用 ②異形型
保険償還価格：1g当たり35円（2022年4月現在）

プロントザン 創傷洗浄用ソリューション（350ml）●入数/箱：10 ●製品番号：400597
（創傷用ゲルと組み合わせて使用するオプション品となります。）（1000ml）●入数/箱：10 ●製品番号：400598



販売名：プロントザン
承認番号：23000BZI00005000

※製品のご使用にあたっては、電子化された添付文書を必ずお読みください。



プロントザンに関する
詳しい情報はこちらから

<https://opm.bbraun-japan.com>

製造販売元

ビー・ブラウンエスクラップ株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷2-38-16JEt本郷ビル